

## 第2回松江市総合計画審議会 会 議 録

1 日時 平成28年9月27日(火) 14:30～16:00

2 場所 松江市役所 本庁西棟5階 防災センター

3 出席者

(1) 委員 (五十音順)

古瀬誠会長、安部隆委員、安喰哲哉委員、安藤只祥委員、太田達也委員、岡清二委員、春日順子委員、狩野治子委員、河原和弘委員、桑原正樹委員、後藤皖一委員、桜井豊委員、佐藤和彦委員、下山治子委員、杉村由紀子委員、瀬崎輝幸委員、竹内直喜委員、竹田尚子委員、中澤ゆかり委員、中島郁子委員、中村隆委員、浅野博雄氏(野津立秋委員代理)、馬場範子委員、林紗羅委員、原完次委員、本庄雅樹委員、松崎貴委員、箕田充志委員

(2) 事務局

松浦正敬市長、星野芳伸政策部長、田原弘経営専門監、須山敏之政策部次長(兼政策企画課長)、岡田等政策係長、大谷昌平政策統計係長、狩野勝専門企画員、大塚裕理副主任、木村大介副主任、柏木健志副主任、平塚稔副主任

4 議事

- (1) 新松江市総合計画の構成(案)について
- (2) 新松江市総合計画の施策体系(案)について

5 会議経過

開会

○須山政策部次長

それでは、定刻になりましたので只今から「第2回松江市総合計画審議会」を開催させていただきます。

本日、議事に入りますまで進行役を務めさせていただきます松江市政策部次長の須山と申します。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、資料の確認をさせていただきます。「第2回松江市総合計画審議会次第」、「新松江市総合計画審議会委員名簿」、「新松江市総合計画構成(案)」、「新松江市総合計画の施策体系(案)について」、「新松江市総合計画主要施策とりまとめ表(第1次集約)」、「新松江市総合計画に関するタウンミーティングチラシ」のほか、追加資料として「席次表」、「平成27年松江市人口動態について」をお配りしております。不足のものがございましたら、お申し出ください。

本日の審議会は、公開により行っております。ご了承願います。

本日は概ね16時半頃を終了予定としておりますので、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、松浦松江市長からごあいさつを申し上げます。

#### 市長あいさつ

##### ○松浦市長

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今回、第2回目の総合計画審議会となります。前回は事務局の方から、新たな総合計画を策定する主旨、これまでの計画との違いについて説明させていただきました。また、古瀬会長をはじめ委員の皆様から様々なご意見をいただきました。住民自らが動く重要性、役割、その中での行政との関わりなど重要な視点をいただくことができたと思っております。これらを踏まえ、今回は新たな計画の柱、主な政策項目につきまして、たたき台をまとめたところでございます。従来のように、行政の都合で分野を縦割りに体系付けるのではなく、横断的に連携しながら目標達成に向かっていく、総合的なまちづくりの指針の骨格をまとめたいと思っております。

本日の会議では、さらに具体的な部分について、皆様からの忌憚のないご意見をいただきまして、有意義な会となりますようお願い申し上げる次第です。どうぞよろしく願いいたします。

##### ○須山政策部次長

続きまして、8月1日付で本審議会の委員に3名のご異動がございましたので、ご紹介させていただきます。

はじめに、山陰合同銀行からお出かけいただいております今若委員の後任として、同銀行地域振興部長の安喰哲哉様でございます。続きまして、島根県農業合同組合くにびき地区本部からお出かけいただいております青砥委員の後任で、同本部営農経済部長の中村隆様でございます。最後に、学生交流ネットワークからお出かけいただいております葛西委員の後任として、同ネットワーク副部長の林紗羅様でございます。

3名の皆様、どうぞよろしく願いいたします。時間の都合で大変申し訳ございませんが、委嘱状はお手元に置かせていただきました。ご了承願います。

なお、本日は工藤委員と山本委員からご欠席という連絡を伺っております。

本日の審議会は、松江市総合計画条例第8条第2項の規定によりまして、定足数に達しておりますので、成立していることをご報告申し上げます。

それでは、古瀬会長から一言ごあいさつをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

会長あいさつ

○古瀬会長

皆様お疲れさまでございます。古瀬でございます。総合戦略推進会議から引き続きの委員の皆様にはお疲れのところ恐縮でございますが、もうしばらくお付き合いいただきたいと思っております。

この総合計画は、先ほど総合戦略がありましたが、総合戦略は昨年10月に、総合戦略推進会議の中で議論を頂戴し、市がまとめられたものです。松江市が人口減少の中でどうやって将来を存続していけばよいかということについて、戦略的に施策を考え、実行していこうというものでありまして、松江市総合計画審議会では松江市が幅広い行政サービスを行っている中で、戦略的なことだけではなく学校教育、学力向上も含め、学校教育環境をどう整備していくか、あるいは、社会保障をどういうふうに進めていくべきか、コミュニティ活動をどのように行政サービスに活用していくか等、幅広い議論が必要なものがあります。その辺りは、あまり重複しない形で会議を運営していかなければならないと思っております。総合戦略と総合計画は矛盾するものではなく、お互い補完し合うべきものだという認識のもと、この総合計画があると思っておりますので、ぜひご理解のほどよろしく願いいたします。

それでは、活発なご討議をお願い申し上げます。

○須山政策部次長

それでは、これ以降の進行を会長にお渡しいたします。よろしく願いいたします。

議事

○古瀬会長

それでは、私の方で進行させていただきます。

まず、議事に入ります前に、会議録の署名者の確認をさせていただきたいと思っております。事務局の方から聞いておりますが、今回は安喰委員と安藤委員にお願いしたいと思っておりますが、両委員様よろしいでしょうか。

※両委員賛同

それでは、よろしく願いいたします。

それでは早速、議事に入らせていただきたいと思います。

まず、新松江市総合計画の構成（案）について、2つ目が新松江市総合計画の施策体系（案）についてということで、まとめて事務局の方から説明をお願いいたします。

(1) 新松江市総合計画の構成（案）について

○星野政策部長

政策部長の星野でございます。私の方から、議事の2点について素案をご説明申し上げたいと思っております。お手元の資料2をご覧くださいと思います。

まず、新松江市総合計画の施策体系（案）について、先ほど申しあげましたように、第1回目の審議会では、総合戦略をベースに新しい松江市の総合計画を5ヵ年の計画として策定することを申しあげたと思います。

現時点で、事務局が提案できる素案ができました。まず、新しい総合計画がどのような姿になるのか、これを施策の体系としてまとめた素案が資料2であります。まず、一番左の「市の将来像」をご覧ください。「選ばれるまち松江」の実現という将来像を描いたところがございます。これは、委員の皆様にお配りしている人口動態の資料に社会動態が記載してあります。これは松江市から転入した人と転出した人の差であります。平成27年度はマイナス443人となっております。松江市から転出されるの方が非常に多いということであり、さらに過去5年間においてもずっとマイナスという状況です。ところが、松江市では総合戦略の人口ビジョンで、今後毎年270人増やしていこうという非常に高い目標を設定しております。これは非常にハードルが高いということですが、これを達成するためには、松江市が市外の方やあるいは国外の方に選ばれるまちになっていかなければならないということで、この市の将来像を提案させていただきたいと思っております。さらに、基本理念には4つの項目を掲げさせていただきました。「若者」に選ばれる、「企業」に選ばれる、「市民・交流者」に選ばれる、「あらゆる世代」に選ばれるまちということで、基本理念としては「人を大切に育てる」、「個性の発揮と広域連携で輝く」、「誇りと愛着を生む」、「安全に安心して暮らす」という4つの基本理念を提案させていただきたいと考えております。この基本理念に対して、施策の柱を18項目提案させていただいております。青い丸と赤い丸がありますが、青い丸は総合戦略で既に掲げてある「施策の柱」、総合戦略では掲げていない柱として赤い丸印で7項目ほど挙げさせていただいております。そして、「基本構想（議決対象、5年間変更せず）」と記載しておりますが、「市の将来像」、「基本理念」、「施策の柱」を基本構想と位置付けております。また、青い点線の囲いは主要施策として、第1回目の審議会において各委員様からいただいたご提案やご意見を盛り込んでおります。後ほど、資料3のところでご説明させていただきま。さらに、赤い点線は主要事業として、予算措置を含めた主要な事業を今後作っていくこととなりますが、この部分は主要施策を具体的に実現するための細かな事業となるため、行政にお任せさせていただきたいと思っております。委員の皆様には、青い点線で記載しております「主要施策」のところまでを議論いただくということになっております。なお、赤い点線で囲った部分は行政に任せていただくこととなりますが、毎年ローリングしながら今後展開していきたいと考えております。

## (2) 新松江市総合計画の施策体系（案）について

### ○星野政策部長

続きまして、資料3をご覧くださいと思います。主要施策をとりまとめた表がございますが、左から将来都市像、4つの基本理念、18の施策の柱となっており、その右の主要施策については、委員の皆様からいただいたご意見と事務局提案を合わせた137項目を現段階で提案させていただいております。

茶色の網掛けについては、すでに総合戦略で計上している事業であります。また、委員提案の施策として、第1回目の審議会においてご提案いただいた内容について、委員の皆様のお名前も掲載させていただいております。その右には、担当部局ということでそれぞれの事業について市役所の担当部局の案を掲載しています。こちらを今日の議論の参考にさせていただきたいと思っております。

また、資料1の方をご覧いただきたいと思います。これから作り上げていく総合計画の構想についてまとめた資料となります。資料1の右側の表をご覧ください。冊子として作り上げる総合計画ですが、大きく4つの構成としたいと考えております。まず、「基本姿勢」として、まちづくりに取り組む基本姿勢や、その先にある松江市の姿を宣言文として記載させていただきたいと考えています。2番目に、「目指すまちの姿」とありますが、このうち赤枠で囲っている部分を中心に、議論をしていただきたいと思います。目指すまちの姿のうち「人口ビジョン」とありますが、これは総合戦略で作成した人口ビジョンを計上することとしています。3番目の「基本構想」ですが、総合計画は今後、議会の議決をいただくようになるため、行政文書を残しておかなければならないということで冊子の中で基本構想を盛り込ませていただきたいと思います。

資料編には、総合計画の概要、時代の潮流、アンケートの結果といったものを今後の総合計画のバックグラウンドにある情報として、整理していきたいと考えております。資料編の情報については、まだ案がまとまっておりません。本日の審議会における皆様からのご意見、あるいは、タウンミーティングの情報も付け加えながら資料編を作成していくこととしております。

基本姿勢も本日は示せておらず、現段階でお示しできるのは赤枠部分となっておりますので、あくまでもたたき台の段階ではありますが、皆様の忌憚のない意見を頂戴したいと考えております。

#### ○古瀬会長

ありがとうございました。只今、説明がありましたように、新松江市総合計画につきまして、構成を含め皆様にご意見をいただきたいと思います。1時間程度の時間となると思います。委員の数が多いため、1人2分程度で、お一人ずつ意見を伺いたいと思います。

#### ○松崎委員

島根大学の松崎です。私の方で提案差しあげたものも盛り込まれており、この方向でよろしいかと思います。また、協力できることがあると思います。

#### ○古瀬会長

ありがとうございます。それでは、箕田委員お願いします。

#### ○箕田委員

松江工業高等専門学校の箕田と申します。私も2つほど意見を出させていただきました。1つは交通に関する事で総合戦略に関連しているということでした。2つ目は、地域の子どもたちや学生が安心して通学できるような防犯の観点を含めた街路灯の設置等が

もしもできれば、安心して暮らせるまちになるのではないかと提案させていただきました。人口減に関して、企業誘致等ができればよいのではと考えております。

○古瀬会長

ありがとうございます。中村委員よろしく申し上げます。

○中村委員

J Aしまねの中村でございます。資料3の2枚目に、前委員の青砥から農林水産業関係について提案しております。農業関係では、J Aしまねが統合し、統合3ヵ年計画ということで30年度までの計画を立てておりますが、それにほぼ沿った内容であると思えます。特に、農業関係では若い就農者、担い手づくりが喫緊の課題であると考えており、担い手対策センターをつくり、松江市とも協力しながら進めているところです。その辺りを中心として、施策作りに協力していきたいと思っております。

○古瀬会長

ありがとうございます。浅野さんよろしく申し上げます。

○浅野氏（野津委員の代理出席者）

松江市医師会副会長の浅野でございます。会長が所用で欠席しております。野津委員の提案が多く、嬉しく思います。医師会で会長からよい提案はないかと役員の理事会で諮られました。会長を含め、3名の理事がアイデアを出したものがまとめられています。本当はもっと具体的なことを提案していました。会長は、全体的なまちづくりについて意見を出していました。もう1人は、松江の教育環境には問題があると意見していました。私は、小児科の医者のため子育て環境、周産期医療体制、病児保育の充実について提案させていただきました。

○古瀬会長

ありがとうございます。教育環境とは、学力のことでしょうか。

○浅野氏（野津委員の代理出席者）

それは個人の考え方にもよりますが、進学のことを意識しています。

○古瀬会長

ありがとうございます。原委員お願いします。

○原委員

P T Aの原です。子どもたちの環境について、いじめや学力低下などたくさんありますが、我々保護者と教員、市との連携がうまく取れていないのではないかと感じています。3者が協働して、同じ方向を向いて教育について考えていきたいと思っております。最近の子どもたちは塾やスポ少で非常に忙しく、外で遊ぶ機会が少ないのでそんな機会が多い松江市になるとよいと思います。

○古瀬会長

父兄の方と教育の現場とまちの人の連携が必要で、そういった場づくりが必要であるという意見でした。次に、後藤委員お願いします。

○後藤委員

町内会自治会連合会の後藤です。私の立場からは、それぞれの地域づくりの課題、公民館単位のまちづくりが課題であると認識しています。地域によって解決しなければならない課題が散らばっているため、まとめて一言では申しあげにくいです。

○古瀬会長

ありがとうございます。まさに市長が言い続けておられる町内会自治会、公民館、コミュニティづくりに関して重要な役割を担っておられるので、またご意見を頂戴したいと思います。次に、中島委員をお願いします。

○中島委員

松江市連合婦人会の中島です。先ほどの会議から引き続いておりますが、施策は色々あり、全部大事だなと思っています。これらの施策を動かしていくためには、人材育成が大切ではないかと思いました。昨日、テレビ（プロフェッショナル）に出ていた島根県邑南町職員の方はすごい人で、それを許す行政、上司が寛大であると思いました。そういう立場になる人を選び、立ちあげることが大切であると感じました。

○古瀬会長

すごかったですね。島根県にあのような方がおられるというのは嬉しいですね。リーダーシップを発揮する人材の確保は地方創生の肝だと思います。続いて、安藤委員をお願いします。

○安藤委員

社会福祉協議会の安藤です。こういう計画では、言葉が非常に重要であると考えています。最近では「市民ファースト」という言葉が席卷しています。市長さんが、横断的にやっていくと言われた中で、資料は部局ごとに分かれたりしており、縦割りの的になっていると感じました。福祉の分野では子どもも高齢者も「横断的」から「まるごと」に動いています。この計画が「市民ファースト」的な目線で「横断的」をより上に行く「まるごと」という視点を持ちながら見える化につながれば、市民の皆様にも受け入れられやすく、見てもらえるものになるのではないかと思います。

○古瀬会長

行政の縦割りをどう是正し、開かれた形で施策をどう運営していくかということは大切だと思います。ありがとうございます。続いて、竹内委員をお願いします。

○竹内委員

日本政策投資銀行の竹内でございます。資料2の施策体系（案）を見ますと、基本理念でターゲットを明確にされている点がとてもよいと思います。若者、企業、市民・交流者、あらゆる世代となっておりとても分かりやすいのですが、1点だけ意見を言わせていただきますと、『「企業」に選ばれるまちへ』の中に観光が入っているのは、若干違和感を感じます。観光だったら『「観光客」に選ばれるまちへ』とすべきですし、最近の観光客は団体より個人客が増えてきています。インバウンドも含めると、『「国内外の個人」に選ばれるまち』という括りがあってもよいのではと思います。

○古瀬会長

『「企業」に選ばれるまちへ』の中に観光が含まれており、分類の仕方に違和感を感じるといふことで、ご意見としていただきます。ありがとうございます。続いて、竹田委員をお願いします。

○竹田委員

松江NPOネットワークの竹田です。現計画との比較について、現計画では6つの基本目標と7つ目として「ともに手をたずさえてすすめるまちづくり」ということが書いてあり、これが6つの基本目標全体にかかるという位置付けになっておりました。共創のまちづくりといふことで、近年、力を入れて取り組んでおられると思いますが、今回示された施策体系（案）では、「市民との」といふ部分が見えないといふところが大変気になりました。NHKスペシャルとプロフェッショナルを見られた方がたくさんいらっしゃいますが、危機的な状況は一部の自治体だけの問題ではなく、松江市も他人事ではないと皆さんが共有したところだと思います。行政だけではもうやっていけない。市民と一緒にやってまちづくりを進めていくといふことがはっきりとわかるように表現できたらよいのではないのでしょうか。

○星野政策部長

全体的に共創の手法で作りあげていくことを前提としていますが、竹田委員がおっしゃった通り、確かにその部分が見えていないので誤解を招くかもしれません。このことに関しては再度検討したいと思います。

○古瀬会長

確かに、「共創のまちづくり」は一貫して市長が言ってきておられることなので、フレーズそのものを工夫してどこかに入れ込まなければいけないと思います。貴重なご意見をありがとうございます。続いて、中澤委員をお願いします。

○中澤委員

公募委員の中澤です。「選ばれるまちへ」といふことで、今松江に暮らしている人たちが楽しんで、将来に希望を感じられるようなまちづくりのために何ができるかといふことを考えて提案させていただきました。前回の会議で一番強く感じたのは、各団体の方それぞれが一生懸命思いを持って活動しておられるので、その方たち同士が横のつながりを持っていけたらよいと思いました。また、高齢者の方や放課後の子どもたちが自分の好きなことをして過ごせる緩やかな場が、子どもたちが歩いていけるような場所にあればよいと思います。そこでは、仕事を終えて子どもを迎えにきたお母さんと一緒に食事ができるようなこともできればよいと思います。松江市の公民館活動は全国的にもモデルとなるぐらい有名で、最近では放課後子ども教室やプレイパーク、民間の学童保育なども増えてきているので、そういう活動が身近にあることを知ってもらうためにも、地域の人が集まる緩やかな場があれば、ご近所同士でアドバイスや紹介し合うことができ、不安感が減るのではないかと思います。防災面や何かあった際の強さにもつながると思います。

○古瀬会長

続いて、馬場委員をお願いします。

○馬場委員

松江市21世紀ウィメンズプロジェクトの馬場と申します。私は商工会議所青年部にも所属させてもらっていますが、コミュニティは自治会や町内会だけでなく、総合戦略に対して、松江市とウィメンズプロジェクト、商工会議所青年部などが一緒に計画し、施策を進めるコミュニティがあってもよいのではないかと考えています。人材という面で見れば、青年団体はいくつかあります。そういったコミュニティも町内会・自治会ともう少し深く関わり、連携していくことが大切だと思います。

○古瀬会長

続いて、林委員をお願いします。

○林委員

今回から参加させていただきます学生交流ネットワーク副部長の林と申します。前回、葛西が施策を提案させていただいたところに関して、基本理念の『人を大切に育てる～「若者」に選ばれるまちへ～』というところがありますが、若者が島根県内で就職をしない状況は大学生にとっても危機的な状況であると感じています。それは、島根県立大学松江キャンパスと島根大学の県内出身者の県内就職率は高いのですが、島根大学は県外出身者が8割以上で、都市部での就職が多い状況にあります。将来、自分が松江と共に暮らしているというビジョンが見えるようなまちづくりができればよいのではないかと考えています。

○古瀬会長

島根大学では県外出身者が8割を占めているということで、その人たちが松江を自分のまちだと思えるような施策ができればよいということでした。ありがとうございました。それでは、杉村委員をお願いします。

○杉村委員

松江圏域老人福祉施設協議会の杉村と申します。私は、主に高齢者福祉という立場からの意見となります。資料3の中で「安全に安心して暮らす」というところで高齢者福祉・介護という言葉が出ております。これからは、地域との連携というところが強化されていくと思いますので、医療・介護との連携強化も記載されておりますが、地域コミュニティの再生、地域包括支援システムを強調して入れていただけたらと思います。また、市長のあいさつにもありましたが、今回の総合計画は「市民と共に」という点を強調された計画であると思いますので、「市民参加型」、「市民運動」をもっと強調して表に出した方がよいと思いました。

○古瀬会長

やはり、もう少し「市民と一緒に」という部分が施策の中にあつた方がよいという意見が多いようです。例えば、認知症、貧困家庭など地域の中でどんな状況の人がどのくらいいるのかを把握する。公民館の中で、そういった部会をつくり、その中で解決していくような仕組みの方が実効的なのかもしれません。施策の項目ごとに考えるのではなく、コミュニティ単位で何ができるのかを考えるためのアプローチが場合によっては必要かもしれません。ありがとうございます。それでは、下山委員をお願いします。

○下山委員

松江市障がい者総合支援協議会の下山です。障がい者福祉の立場からお話させていただきます。地域では色々な障がいを持った方が暮らしていて、そういった方の特性の理解が地域に深まり、障がいがあってもなくても安心して暮らせるまちになればよいと思います。やはり、障がい者福祉に関しても、オールフリーで教育、健康、医療、働く、社会参加、余暇などの分野との連携も盛り込まれてくるともっとよいものになると思います。

○古瀬会長

ありがとうございました。続いて、桑原委員をお願いします。

○桑原委員

宍道湖漁業協同組合の桑原と申します。自然環境に関して提案をさせていただきました。宍道湖漁協の漁業者は、宍道湖の豊かな自然の恵みを享受していますが、自然の保護とはただ守るのではなく、それを通じて利益につながるものと思っています。県庁所在地の松江というところで漁業が健全に行われ、比較的豊かな自然環境があるというのは松江の魅力であると感じています。自然から得られる利益は農林水産業の振興にもつながりますし、主要施策にあるふるさと教育にも関わってくるのではないかと思います。

○古瀬会長

続いて、狩野委員をお願いします。

○狩野委員

松江市高齢者クラブ連合会の狩野です。全国の高齢者クラブでは友愛、健康、奉仕という3つの目標で活動しています。松江市も、なごやか寄り合い事業によって高齢者が健康で楽しく過ごせています。しかし、会員さんの中には認知症になりかけている人もいて、行政と手を携えながらやっていかなければと感じています。私の団地は昭和40年代にできた団地で、若い人が出ていき高齢者だけが残ったような団地となっています。誰もが自分の立場で考えられるような施策が取りあげられたらよいと思います。

○古瀬会長

続いて、公募委員の岡委員をお願いします。

○岡委員

公募委員の岡です。先週、所用で神戸を訪問した時、三宮のバスターミナルに行きましたが、高齢者やハンディキャップのある方が多く出入りしていました。松江市も高齢者が多いと思いますが、出かけやすいまち、出かけてみたいまちを目指してほしいと思います。また、観光と健康を組み合わせた施策も考えてほしいと思います。例えば、松江駅に到着した観光客が、バスやタクシーだけではなく歩いて宍道湖まで行けるようなコースができればよいと思っています。昨年、友人が松江駅まで来て迎えに行った際、彼が宍道湖まで歩きたいと言ったので歩いてみると、案外歩ける距離でした。また、八重垣神社に観光バスがたくさん来ていますが、ついでに神魂神社にも足を伸ばせるような取組があればよいと思いました。

○古瀬会長

ありがとうございました。観光と健康というのはなるほどと思いました。歩くだけでなく、自転車、ランニングコースもあるとよいと思います。ありがとうございました。それでは、安部委員をお願いします。

○安部委員

松江体育協会の安部です。私はスポーツに関する観点から提案させていただきました。オリンピックを控え、東京では施設を建設したりしていますが、スポーツ庁ではオリンピック後の施設を活用したスポーツビジネスについて考えています。松江市では、これまでスポーツはどうしても社会教育、社会体育の枠組みの中で色々と取り組んできましたが、スポーツインフラが整備されてきておりますので、これを活用したスポーツ健康産業を発展させていく必要があるのではないかと考えています。例えば、スポーツツーリズムに取組めば全国から人が集まってくるので、観光とどう結びつけるかを考えていく必要があると思います。また、温泉施設を活用した健康ツーリズム、あるいは若い人がスポーツ施設での健康教室などでビジネスにつなげていくような施策を支援することもよいと思います。さらには、農水商工連携として、薬用ニンジンなどを利用した薬膳料理やヘルシー食材・健康食品、特保食品の開発支援とツーリズムへの組み込み、障がい者や高齢者向けスポーツの施設整備とツーリズムへの組み込み等様々な観点で考えると、今後も教育委員会が所管することは限界があると感じています。産業観光部などと連携しながら取り組む必要があると思います。

○古瀬会長

スポーツを産業化していくためには、教育委員会の役割は少し違うのではないかという面白い発想だと思います。産業振興という視点でスポーツを振興していくべきという参考になる意見でした。それでは、瀬崎委員をお願いします。

○瀬崎委員

山陰中央新報の瀬崎です。「人を大切に育てる」という点について、先ほど、コミュニティのあり方は多様であるべきだという話がありました。以前、「松江未来塾」に関わった時につくづく思ったのですが、まちの活力には若い人の力が大きく、その人たちが集う場が非常に大事であると痛感しました。つまり、異業種の若者が交流できる仕組み作りであると思っています。異業種の若者が交わることで色々なコミュニケーションができ、その中で生まれたのが未来塾の同窓会でした。20代～30代の若者が横軸で交わる仕組みがまちの活力になり、魅力あるまちづくりにつながるのではないかと感じています。もう1点は、人口対策に関して、18歳時点の人口が分岐点であると考えています。島根大学の学生は8割が県外出身者で、ほとんどが島根から出て行ってしまっている状況の中、数字だけ見るとあまり減っていないように見えますが実際は大量に流出しています。松江はとてもよいまちであるというふるさとの魅力を届け続ける仕組みが工夫できないかと思えます。具体的なアイデアはないのですが、その対策を求めたいと思います。

○古瀬会長

ありがとうございます。続いて、安喰委員をお願いします。

#### ○安喰委員

山陰合同銀行の安喰です。「人を大切に育てる」という話がありましたが、古瀬会長の私塾『尚風館』は2期生まで入学しており、1期生が13名、2期生が17名の30名となっています。論語や松江の文化、歴史、神話などを松江の子どもたちに教え、松江の魅力を伝えるという活動をしています。こうした活動を松江市と連携して進めていけたらと考えています。また、資料3の社会資本整備について、数年前にPFI法が改正し、国の施策として21兆円をPFIで取り組むことが示されています。主要施策を見ると該当すると思われる施策もありますが、これだけなのかという思いもあります。また、「時代に適応した効果的で効率的な財政運営」の中に「公共施設適正化の推進」、「上下水道事業の広域化の推進」がありますが、こうした世の中の動きを踏まえた施策も必要なのではないかと感じています。

#### ○古瀬会長

ありがとうございました。続いて、太田委員お願いします。

#### ○太田委員

松江サークル・コネクションの太田です。資料3の主要施策の一番上の「松江サークル・コネクション等を通じた若者世代人材育成」とありますが、サークル・コネクションは、始まった時は若者団体がたくさん集まって1つのイベントをしようという思いで集まったのですが、5～6年経ち、最近では若者の団体が少なくなってきたと感じています。もう一度、若い団体の人たちと一緒にイベント等をサークル・コネクションとしても考えて、つながりを持ってリーダーの人材育成をしていきたいと考えています。

#### ○古瀬会長

素晴らしい取組をされているので、ぜひリーダーシップを発揮していただきたいと思います。それでは、本庄委員お願いします。

#### ○本庄委員

松江青年会議所の本庄です。我々も単年度の組織ですが、ある程度中期計画を持ちながら活動しております。今後5年間、松江の魅力を高めるというスローガンで活動することとしており、2年後の2018年には、松江城にて全国規模の城下町のシンポジウムを開くことも決まっております。また、今日3日の山陰中央新報にも掲載していただきましたが、国土交通省と連携し、宍道湖から嫁ヶ島に渡るイベントなど水辺で楽しんでもらうイベントをこれから5年で計画を立てて取組んでいきたいと考えています。もう1点、災害支援の件について、私は東日本大震災のボランティアとして車で被災地に行った経験があります。しかし、ボランティアセンターが立ち上がるまでに時間がかかる関係で、ボランティアに行っても待たされることがよくあります。島根県と公益社団法人日本青年会議所島根ブロック協議会との間では災害支援協定を締結させてもらっているので、これと似たような内容で松江市と公益社団法人松江青年会議所の間でも災害支援協定を締結することができれば、災害時にスムーズな対応ができるのではないかと感じています。

○古瀬会長

ありがとうございました。確かに、ボランティアセンターの立ち上げには時間がかかります。行政と地元の特定の団体との連携も1つの方法かもしれません。それでは、佐藤委員をお願いします。

○佐藤委員

松江市公民館長会の佐藤でございます。公民館、社会教育施設の立場から発言させていただきますと、松江市には29の公民館単位の地域分けがされておりますが、公民館単位で考える地域課題が広がってきています。地理的に考えても同じではなく、同じことを全てやろうとすると公民館はパンクしてしまいます。主要施策の中で、地域に合った優先度があるため、地域のまちづくり協議会のような組織でしっかり議論し、優先順位を付けて実施していくことが重要であると思っています。それと同時に、社会教育施設でもありますので、リーダー、人材を育てることが必要です。社会教育全般ではなく、地域別に行う社会教育を進めていけたらよいのではないかと考えています。

○古瀬会長

ありがとうございます。確かに、地域によって状況は異なるので、優先度を決めながら解決していくということは重要であると思います。それでは、春日委員をお願いします。

○春日委員

島根県看護協会の春日です。私たちは『安全に安心して暮らせる～「あらゆる世代に選ばれる」まちへ～』に関して提案させていただきました。今、国の施策として在宅医療が進められています。地域包括ケアシステムの松江版とまでは言いませんが、松江らしい地域包括ケアシステムの構築に向けて、色々と考えていけたらと思っています。具体的には、モデル地域を指定し、実際にやっていたらと考えています。癌患者の方、精神障がいの方も全て在宅医療と言われる時代なので、そのような仕組みができればよいと思っています。

○古瀬会長

ありがとうございました。続いて、河原委員をお願いします。

○河原委員

連合島根松江隠岐地域協議会の河原と申します。私どもは、働きやすい職場づくり、明るい家庭環境づくり、松江隠岐地域協議会としての独自の施策で、住みやすいまちづくりを進めている協議会です。2年に1回、市に政策提案をさせていただいており、主要施策の中には、私どもが提案している項目もかなり含まれております。基本は松江で働ける職場ではないかと思いますが、松江で働ける職場が限られているという現状があります。成人式の際に聞かれた意見では、地元で就職したいという声も多く、働きやすい環境づくりと併せて、UIターンの支援、就業支援の取組を互いに知恵を出し合って取組んでいきたいと思っています。

○古瀬会長

ありがとうございました。最後になりましたが、桜井委員をお願いします。

#### ○桜井委員

島根県商工会連合会の桜井と申します。「人を大切に育てる」、「未来を担う人材を育てる」という観点から、事例も踏まえながらお話したいと思います。やはり、若い力、特に中学生等の人材を育て、地域の活性化、地域づくりにつなげることが大切だと思っています。東出雲中学校にボランティア部があり、近年創部されました。20数人が活動しています。夏休みに、保育・福祉施設に出かけていき、児童やお年寄りとのふれあいをしています。また、地域のイベントに出かけていき、司会や手伝いをしています。さらに、町内の清掃活動も行っています。我々も一緒になって取組むことが重要であると考えており、できることから活動の輪を広げていこうとしています。ボランティアや地域に貢献しようという考えを、小さい時から持ってもらい、育てていくことが大切であると感じています。また、公民館活動としては玉湯メンバーズクラブが素晴らしい活動をしておられます。地域に貢献をしよう、元気を与えよう、地域に必要とされる玉メンをつくろうということから、メンバーと中学生、高校生、社会人が一緒になって様々なボランティア活動を行っています。ボランティアの輪をひとつずつ広げていくことが、今後必要になってくると思っています。

#### ○古瀬会長

ありがとうございます。中学校や地域で活発に行われているボランティア活動の輪を広げていくというご意見でした。

30名の委員の皆さんの意見をお聞きすることができました。大変貴重な意見をいただき、ありがとうございます。一つひとつ、感心する意見でしたので、事務局の方で吸いあげていってもらいたいと思います。

構成（案）については、4つの構成で異論のある方はおられなかったと思いますので、この構成で進めたいと思います。

施策体系（案）については、色々ご意見をいただきましたので、これを参考に個別の事業に活かしていただきたいと思います。

私の感想としては、皆さんの意見をお聴きして、それぞれの分野、立場で問題があることを実感しました。例えば、認知症で問題を抱えている施設の立場、障がい者の問題を抱えている団体の立場、貧困家庭の問題を抱え、何の罪もない子どもたちが非常にさびしい思いをしていることを身近に知る団体の立場などがありました。私が強く感じたのは、そうした問題に対して、行政と業界団体、行政と施設、行政と学校というつながりで問題を解決している中で、本当にそういう取組みだけでよいのかということ。安全に安心して暮らせるというところに「地域で支え合う福祉体制づくり」と書いてあります。この意味は、市長がおっしゃっていることを深く考えれば少し地域単位で、共創だからお互い一緒にやっっていこうということだと思います。行政が全てに結びついて対応すると、行政コストが膨大になって解決できる数が限られていきます。もっとたくさん問題があるわけですから、いきなりそういう結びつき方をするのではなく地域を介在する。地域には様々な課題があり、優先度合いもそれぞれ違います。ここの地域は認知症の方が多いとか、ここの地域はむしろ子どもたちの問題だとか色々な問題があると思います。そういう問題を地域

の中で話し合い、優先度合いを引き出し合って、地域と業界団体、地域と施設、地域と学校等が対話をしながら、コミュニティの中にそういう問題を解決するプロジェクトチームがあって、その後ろに行政がいて、必要に応じて支援をしていく。そういう形をそろそろ考えないといけない。個々でやっていると解決できる課題の数も限られ、硬直的になる。もう少し地域の中で世代を超えたつながりがあってもよいと思います。ボランティアもそうです。地域の中には学校もあります。地域と学校がつながることで子どもたちがその輪の中に入っていけるようになり、場合によっては、問題の解決に関与できるかもしれません。世代を超えて、あるいは、垣根を超えて行える仕組みがなければ、これからますます行政サービスが難しくなっていく中で、なかなか解決ができない。特に、人口が減っている周辺部に行けば行くほど難しくなっていくので、そういう仕組みを今のうちから準備しておく。皆様からのお話を聴いていて、アプローチの仕方を少し考えてみるということ非常に強く感じました。解決方法はおそらくそれしかないでしょう。地域の中で、それぞれの課題を解決する仕組みをつくりながら、それでうまくいったところをきちんと情報交換しながら、レベルをあげていき、全体としてもうまくいっているねという姿をつくっていく。もちろん最初は地域によって優劣が出てくると思うのでそこは行政が見てサポートしながら進めていくという形で、それがまさに共創のまちづくりということではないでしょうか。全部に共創という意味ではなくて、特にセーフティネットの部分については、みんなが考えないといけない問題ということで、できるだけそういう解決を目指された方がよいのではと皆さんの意見を聴いていて思いました。

他にご意見はありますでしょうか。大変貴重なご意見をありがとうございました。続きましては、新松江市総合計画に関するタウンミーティングについてのお知らせです。

#### ○須山政策部次長

それでは、資料4について説明します。10月23日と30日に新総合計画に関するタウンミーティングを行うこととしております。こうして皆様方にお話をお聴きしまして、これまで提案された施策を市民の方へ紹介していきたいと思っております。そこで紹介をしながら、市民の方からの意見をいただきたいと考えており、いわゆるパブリックコメントをHP等でも実施することとしておりますが、その出前版のような形でパブリックコメントをお聴きしようと思っております。フリーに気軽に話し合いをしていただける場にしたと企画しましたので、できるだけ多くの市民の皆さんにご参加いただけたらと思っておりますが、この2日間で各日50名を定員としておりますが、50名が限界というわけではありませんので、もっとたくさんの方に参加していただければなおよいと思っております。皆様方からもご参加いただけると喜びますが、ご関係の方々にもこのタウンミーティングについてお話いただき、たくさんの方に集まっていたらと思っております。23日はテルサの大会議室、30日は県民会館の大会議室で行うことにしております。参加申込みについては、このチラシに申込書が付いておりますが、公民館や役所にもこのチラシが置いてあります。また、FAXやメールでも受け付けておりますので、お気軽にご参加いただきますよう、関係の皆様方にもお伝えいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○古瀬会長

タウンミーティングの件、PRのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

それでは皆様、貴重な意見をたくさんありがとうございました。全日程を終えましたので、全体を通して松浦市長のコメントをいただきたいと思います。

○松浦市長

今日は大変貴重なご意見をいただきました。総合戦略の会議からご参加いただきました方につきましては、長時間に渡りお疲れさまでございました。

最近思いますのは、人口減少も関係していると思いますが、地域の力がだんだん落ちてきているのではないかと感じております。しかし、松江市の活力を考えていった場合には、縦割りで色々な取組をしても総合力として力を発揮することはできないと私は考えております。したがって、やはり皆さんが住んでおられる地域、どういう単位をとるかにもよりますが、松江の場合であれば、公民館単位で活力を持たせていくことが大変大事だと思っております。新聞等でも書かれておりましたが、土地利用に関して、我々と議会の間で色々と議論をしているわけですが、これまでは都市計画の関係で「線引き」ということをしています。市街化区域と市街化調整区域、あるいはその外の全く何の規制も無い区域などに分かれています。議会の議員さんの立場からすると、自分たちが住んでいるところが機械的な線引きによって大変住みにくくなっているという思いがあると思います。したがって、この線引きをもう一度見直し、松江に合ったことを考えてみたらどうかという意見が出ています。それに対して、行政はどうしても制度にしたがって物事を考え、今ある制度をいかに守っていくかという立場になるので、どうしてもそこで対立となってしまいう。やはり総合的に考えていくためには、地域の力なり地域にどう活力を与えていくかということが一番の出発点ではないかと思っております。そういう目を見たときに、地域をどう引っ張り、どうやって活力をつくっていったらよいかを考えると、地域の魅力や地域のために一生懸命になる動機付けのようなものを何か考えていかなければならないのではないかと思います。誤解があるといけません、例えば、福祉だけでその地域をつくっていかうとしてもなかなか難しいと思います。福祉活動で人のために尽くすということは尊いことだと思いますが、それだけで地域をつくっていかうとしてもなかなか難しいと思います。色々考えていくと、地域での営利活動など地域の皆さんがそこで打ち込めるようなことを考え、それをひとつの象徴にして、福祉などの分野を加えていくことが必要なのでは思っています。福祉の場合、各家庭から社会全体で支える仕組みに移行した歴史がありますがそれがなかなかうまくいかないということで、今度は地域で福祉を支えていかうという形に今なっているわけですから、方向性も一致しているのではないのでしょうか。しかし、福祉だけではやっていけないので総合的にやっていく必要があります。そして、そこで安心して暮らしていけるための福祉を充実させていくということになっていくと思います。自分の家庭が一つの地域であると置き換えてみれば当たり前のことではないかと思いますが、家庭の中での人づくりも当然やっていかなければならないと思います。そういう意味で、公民館単位で、総合戦略を含む総合計画を全て地域で取組むわけではなくて、自分の地域ではこの取組をやってみようなど、ぜひ地域単位でやっていただくと大変ありがたい

と思います。地域をいかに活性化させていくか、いかに活力を持たせていくかということを念頭に置いて、まちづくりを考えていけたらと私は思っております。もちろん、色々な考え方があると思いますので色々な方々のお考えをお伺いしながら、ぜひ松江らしい総合計画をつくりあげていきたいと思っております。

本日は大変貴重なご意見をいただきましたが、概ね「人づくり」と「地域づくり」に集約されていたと思います。いただきましたご意見をもとに、これからまとめていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

○古瀬会長

それでは、本日は長時間ありがとうございました。事務局の方で何かありましたらお願いいたします。

○須山政策部次長

会長様、円滑な進行をありがとうございました。委員の皆様方、たくさんのご意見をありがとうございました。会議の進行にもご協力いただきまして、ありがとうございました。

今後ですが、タウンミーティング、パブリックコメントを実施する予定です。議会でも特別委員会を設置していただきましたので、議会の委員の方からもご意見をいただきたいと考えております。11月に、ほとんどできあがったものを皆様方に見ていただく機会として、3回目の審議会を開催したいと思っております。

最終的に、12月のところで議会の議決をいただくという予定にしております。また、具体的な日程は調整させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これをもちまして、第2回の松江総合計画審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。